



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年8月8日

上場会社名 ヨネックス株式会社

上場取引所

東

コード番号 7906 URL <http://www.yonex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 林田 草樹

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 米山 修一

TEL 03-3839-7112

四半期報告書提出予定日 2018年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	14,457	△9.2	579	△28.4	697	△12.1	607	10.5
2018年3月期第1四半期	15,915	4.0	809	△34.4	793	△11.6	549	△7.9

(注)包括利益 2019年3月期第1四半期 298百万円 (△34.5%) 2018年3月期第1四半期 455百万円 (74.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	6.95	6.94
2018年3月期第1四半期	6.30	6.28

※「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」は、株式給付信託口が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めて算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	53,675	36,900	68.7
2018年3月期	53,237	36,815	69.1

(参考)自己資本 2019年3月期第1四半期 36,893百万円 2018年3月期 36,807百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
2019年3月期	—				
2019年3月期(予想)		2.50	—	2.50	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,000	△0.7	1,600	△14.5	1,600	△16.3	1,200	△8.4	13.74
通期	64,500	3.7	3,000	2.6	3,000	4.9	2,100	12.7	24.05

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※「1株当たり当期純利益」は、2018年3月期末時点で株式給付信託口が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めて算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(追加情報)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期1Q	93,620,800 株	2018年3月期	93,620,800 株
2019年3月期1Q	6,275,780 株	2018年3月期	6,303,882 株
2019年3月期1Q	87,335,006 株	2018年3月期1Q	87,292,796 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※「期末自己株式数」には、株式給付信託口が保有する当社株式数が含まれております。また「期中平均株式数(四半期累計)」の計算において控除する自己株式には、株式給付信託口が保有する当社株式の期中平均株式数が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

業績予想等の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は2018年8月8日(水)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社の業績は、売上については、引き続き中国の在庫調整の影響等による海外売上の減少に加え、国内についてもテニス用品等の売上が減少し、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は144億57百万円（前年同四半期比9.2%減）と減少しました。製造コストの低減や円高等の影響で売上総利益率は回復傾向にあるものの、売上減少により売上総利益が減少した結果、営業利益は5億79百万円（前年同四半期比28.4%減）、経常利益は6億97百万円（前年同四半期比12.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は北米販売子会社の社屋売却益の発生により6億7百万円（前年同四半期比10.5%増）となりました。

当社グループでは、2021年3月期を最終年度とする中期経営計画を策定し、グローバルな成長を支える基本方針を定めました。「独創の技術と最高の製品で世界に貢献する」の経営理念のもとに「質の高いものづくり」のさらなる進化に取り組み、その製品を世界のお客様にお届けすべくグローバルな販売、流通網の強化を進めております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① [スポーツ用品事業]

イ. [日本]

国内では、前年同四半期に日本人選手の国際大会での活躍の影響で売上が増加した反動もあり、バドミントン用品は微減となりました。また、テニス用品についてもシューズの新製品発売時期のずれ等の影響で売上減となりました。海外代理店向け輸出・仲介売上については、テニスラケットは契約選手の活躍の効果で増加したものの、バドミントン用品はストリング、シューズ等が減少しました。利益面については製造コストの低減、前年同四半期に比べ為替が円高に推移したことによる原材料及び日本国内向け商品輸入コストの低下等により売上総利益率は改善したものの、売上減の影響を補えず減益となりました。

この結果、売上高は92億46百万円（前年同四半期比9.2%減）、営業利益は1億46百万円（前年同四半期比56.7%減）となりました。

ロ. [北米]

北米販売子会社では、バドミントン用品が前年同四半期比で売上減となりましたが、テニス用品について契約選手の活躍によるブランドへの注目度の高まりの影響で、ラケットを中心にテニス用品全体で売上が伸長し、全体として増収となりました。利益については、売上総利益率の改善により増益となりました。

この結果、売上高は5億53百万円（前年同四半期比7.4%増）、営業利益は32百万円（前年同四半期比46.1%増）となりました。

ハ. [ヨーロッパ]

ヨーロッパ販売子会社では、テニス用品については契約選手の活躍の効果もあり売上が伸ばしましたが、バドミントン用品については減収となりました。これらにより現地通貨ベースでは減収となったものの、現地通貨（ポンド及びユーロ）高の影響により前年同四半期に比べ微増となりました。一方、利益については、売上総利益率の改善が見られましたが販管費の増加が上回り、減益となりました。

この結果、売上高は6億49百万円（前年同四半期比1.8%増）、営業利益は3百万円（前年同四半期比31.5%減）となりました。

ニ. [アジア]

中国販売子会社では、前期から続く在庫調整に伴い、バドミントン用品やウェアの売上が減少したことにより減収減益となりました。

台湾子会社では製造部門で、中国等の販売停滞の影響によりラケットの生産量が減少しました。販売部門では主力のバドミントン用品の売上が減少しましたが、テニス用品が増加したため、前年同四半期比では増収となりました。

この結果、売上高は38億23百万円（前年同四半期比13.0%減）、営業利益は3億56百万円（前年同四半期比21.6%減）となりました。

これらの結果、各地域セグメントを合計したスポーツ用品事業の売上高は142億72百万円（前年同四半期比9.2%減）、営業利益は5億38百万円（前年同四半期比34.3%減）となりました。

② [スポーツ施設事業]

スポーツ施設事業の中核をなすヨネックスカントリークラブでは、天候不順の影響等により入場者数は前年同四半期に比べて減少し、減収減益となりました。

この結果、スポーツ施設事業の売上高は1億85百万円（前年同四半期比2.7%減）、営業利益は68百万円（前年同四半期比5.1%減）となりました。

(注) セグメント別の記載において、売上高については、「外部顧客への売上高」について記載し、営業損益については、「調整額」考慮前の金額によっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、536億75百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億38百万円の増加となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の増加及び現金及び預金の減少によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、167億75百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億53百万円の増加となりました。その主な要因は、賞与引当金及び未払金の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、369億円となり、前連結会計年度末に比べて84百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加及び為替換算調整勘定の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期連結累計期間の業績は、前期から継続している中国の在庫調整の影響に加え、国内や輸出・仲介売上についても前年同四半期比減となり厳しい状況で推移しております。今後は現地ニーズに即した新製品の提案等による売上回復と欧米を中心としたテニスの成長を加速させることに加え、中国の在庫の適正化に向けて引き続き取り組み、予想業績の達成を目指してまいります。現時点において、売上高等主要数値は当初予想の範囲内に留まっておりますので、第2四半期累計期間及び通期ともに2018年5月10日に公表しました業績予想は変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,640,900	9,751,334
受取手形及び売掛金	12,389,102	13,752,559
商品及び製品	6,104,587	6,390,749
仕掛品	1,147,863	1,192,230
原材料及び貯蔵品	896,448	986,709
その他	1,025,907	1,623,284
貸倒引当金	△35,057	△36,754
流動資産合計	33,169,752	33,660,114
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,659,385	5,548,776
土地	8,098,724	8,081,616
その他（純額）	2,672,052	2,727,633
有形固定資産合計	16,430,162	16,358,026
無形固定資産	405,547	348,154
投資その他の資産		
投資有価証券	155,813	156,909
長期預金	506,240	510,540
繰延税金資産	2,136,865	2,123,544
その他	434,574	520,107
貸倒引当金	△1,527	△1,527
投資その他の資産合計	3,231,965	3,309,573
固定資産合計	20,067,676	20,015,753
資産合計	53,237,428	53,675,868

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,247,237	3,121,455
未払金	1,605,677	1,949,104
短期借入金	91,170	89,304
1年内返済予定の長期借入金	565,555	565,555
未払法人税等	202,874	255,923
未払消費税等	149,943	69,570
賞与引当金	788,166	1,140,740
役員賞与引当金	—	5,368
その他	993,212	937,903
流動負債合計	7,643,837	8,134,925
固定負債		
長期借入金	3,630,833	3,489,444
退職給付に係る負債	3,161,011	2,961,296
役員退職慰労引当金	236,158	243,648
株式給付引当金	17,115	33,937
長期預り保証金	1,648,526	1,850,104
その他	84,545	62,274
固定負債合計	8,778,190	8,640,705
負債合計	16,422,027	16,775,630
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,706,600	4,706,600
資本剰余金	7,660,041	7,660,703
利益剰余金	26,303,395	26,691,907
自己株式	△1,357,862	△1,352,431
株主資本合計	37,312,173	37,706,779
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,893	36,654
為替換算調整勘定	△132,608	△466,515
退職給付に係る調整累計額	△408,021	△383,550
その他の包括利益累計額合計	△504,736	△813,412
新株予約権	7,963	6,870
純資産合計	36,815,400	36,900,237
負債純資産合計	53,237,428	53,675,868

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	15,915,839	14,457,913
売上原価	9,268,821	8,220,953
売上総利益	6,647,018	6,236,959
販売費及び一般管理費	5,837,358	5,657,115
営業利益	809,660	579,843
営業外収益		
受取利息	4,554	8,617
受取賃貸料	5,055	4,467
為替差益	—	104,301
その他	4,074	5,463
営業外収益合計	13,684	122,849
営業外費用		
支払利息	3,407	3,430
売上割引	4,446	1,669
為替差損	21,175	—
その他	707	258
営業外費用合計	29,736	5,358
経常利益	793,608	697,334
特別利益		
固定資産売却益	—	160,338
特別利益合計	—	160,338
税金等調整前四半期純利益	793,608	857,672
法人税、住民税及び事業税	351,755	271,108
法人税等調整額	△107,781	△20,690
法人税等合計	243,974	250,418
四半期純利益	549,634	607,253
親会社株主に帰属する四半期純利益	549,634	607,253

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	549,634	607,253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,157	760
為替換算調整勘定	△121,776	△333,907
退職給付に係る調整額	25,514	24,470
その他の包括利益合計	△94,104	△308,675
四半期包括利益	455,529	298,578
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	455,529	298,578
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	スポーツ用品事業					スポーツ 施設事業			
	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	10,178,675	514,825	638,109	4,393,997	15,725,607	190,232	15,915,839	—	15,915,839
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,277,092	244	2,258	1,081,922	3,361,519	20,168	3,381,687	△3,381,687	—
計	12,455,768	515,070	640,367	5,475,920	19,087,127	210,400	19,297,527	△3,381,687	15,915,839
セグメント利益	337,784	22,072	4,885	454,562	819,305	72,027	891,332	△81,672	809,660

(注) 1. セグメント利益の調整額△81,672千円は、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整額等でありま
す。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	スポーツ用品事業					スポーツ 施設事業			
	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	9,246,104	553,006	649,763	3,823,972	14,272,847	185,065	14,457,913	—	14,457,913
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,175,048	—	1,799	1,043,003	3,219,851	20,520	3,240,371	△3,240,371	—
計	11,421,153	553,006	651,562	4,866,975	17,492,698	205,586	17,698,285	△3,240,371	14,457,913
セグメント利益	146,304	32,258	3,344	356,366	538,273	68,350	606,624	△26,780	579,843

(注) 1. セグメント利益の調整額△26,780千円は、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整額等でありま
す。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。